

ワークショップ型 教師研修

参加費
無料！

授業実践を支え合い、 高め合える教育機関を目指して ～「相互授業観察」という 仕組みの可能性～



「授業をよくするためにもっとみんなで話し合いたいのに・・・」「先生の授業力をあげるための研修をしたいけど、どうすればいいのか・・・」「自分の授業は本当に学生にとってよい授業なのか・・・」「教員研修をしても、先生方にきちんと伝わっているのか分からない・・・」

教育機関にとっても、個々の先生にとっても「常によりよい授業実践を求める」ことは非常に重要なテーマでありながら、実現が難しいテーマでもあるのではないのでしょうか。実際、自らの職場において授業について意見を交換し合い、それを授業に生かしていくという機会は多くないかもしれません。

そのような場を学校の中に生み出す方法の1つに「相互研修型の授業観察」があります。

本イベントでは、実際に日本語学校で行った「相互研修型の授業観察」を紹介します。また、授業観察の一部を擬似的に体験するワークショップを通して、参加者間で情報交換ができる場を設けます。研修を通して「協働で授業実践を向上させる」ことの意義と楽しさ、そしてそのための方法を知ってもらいたいと考えています。

「自分の職場に学び合いの文化を作っていきたい」「先生に選ばれる職場を作っていきたい」と考えている方のご参加をお待ちしています。

2024.10.26 Sat

14:00～17:00（開場 13:30）

ECCコンピュータ専門学校 3号館

（大阪府大阪市北区中崎西2丁目3-35）

（中崎町駅から徒歩1分、JR大阪駅から徒歩10分）

学校HP <https://comp.ecc.ac.jp/access/>

講師

野瀬 由季子（大阪教育大学 特任講師）

澤田 竜人（ECC国際外語専門学校日本語学科

副学科長 兼 教務課責任者）

WEB FORM

<https://forms.gle/NgpA5er9ktQxLt4NA>

右記QRコードからもアクセスできます。



定員

24名

同じご所属の先生方でのご参加も歓迎いたします。ただし最大6名までといたします。また、代表者のみが回答するのではなく、全員がFORMにご回答ください。

持ち物

1. ノートPC

電源は数に限りがあります。充電をしてお持ちください。

2. 学校で使用されている日本語テキスト1冊

本ワークショップでは、授業観察の一部を擬似的に体験します。そのため、例えば、初級の担当をしていて、初級で『できる日本語 初級』を使用している場合には、このテキストをお持ちください。

講師紹介

野瀬 由季子（大阪教育大学 特任講師）

略歴

- ・言語文化学（博士）（大阪大学大学院言語文化研究科言語文化専攻）
- ・現職では大学の留学生教育、日本語教育、日本語教師教育に関する教育研究活動に従事
- ・研究キーワードは「日本語教師教育」、「教師研修」、「授業観察」
- ・「日本語教育学会の人材、知財、ネットワークを活かした中堅日本語教師のための研修」（JCN研修）修了（2024年）

ご挨拶

「観察」と「対話」を通して、人は多くの学びを得ると考え、これまで、日本語教師同士で授業を観察し合う「授業観察」をどのように日本語教育機関で実施できるのかを模索してきました。本ワークショップでは、「研究者」であり「一実践者」として関わってきた、ECC国際外語専門学校での授業観察の取り組みをご紹介します。そこで直面した課題や発見について皆様に共有したいと考えています。そして、皆様の機関ではどのような日本語教師の成長機会や組織改革の取り組みがあるのかを教えてください、日本語教育機関のより良い在り方について、議論できるのを楽しみにしております！授業観察という活動がいまいちイメージできないという方も、自分も参加してみたいけどどうすれば実施できるのかわからないという方も、ぜひご参加ください！

澤田 竜人（ECC国際外語専門学校日本語学科 副学科長 兼 教務課責任者）

略歴

- ・約10年間の会社勤めを経て、日本語教師に転身
- ・日本語教育学（修士）（関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科）
- ・「日本語教育学会の人材、知財、ネットワークを活かした中堅日本語教師のための研修」（JCN研修）修了（2019年）
- ・セミナー講演（株式会社さんぼう主催）「日本語学校における大学院進学指導について～指導デザインの考え方と実践例の紹介」（2021年）
- ・文部科学省 令和5年度／令和6年度 現職日本語教師研修プログラム普及事業（AOTS受託）「就労者に対する日本語教師【初任】研修」講師

ご挨拶

教務課の責任者として、いつも「先生がよりよい授業をできる環境を創りたい」、「授業準備や授業実践のことを一人で悩むことがないようにしたい」と考えていました（今も考えています）。そんな中で「授業観察」というしくみに出会い、「これは、理想を具現化するための大きな助けになってくれるものだ」と直感し、すぐに導入を決めました。それから4年経った今、自分の直感が正しかったことを確信しています。

「授業観察プロジェクト」は、日本語教師の授業実践に大きな力を与えてくれます。本ワークショップでは、これまでの取り組みを知識として共有するだけでなく授業観察の一部を実際に体験いただくことで「学ぶことの楽しさ」と「授業実践を考える楽しさ」を感じていただければと思っています。多くの方のご参加をお待ちしております!!